

## 平成27年度 石見養護学校 学校関係者評価報告

※評価の観点と評価数値 「A：よくあてはまる」4点、「B：ややあてはまる」3点、「C：あまりあてはまらない」2点、「D：まったくあてはまらない」1点、「E：分からない」の5点評価とする。

※評価平均値は、その評価観点数値の合計をA～Dの回答数の和で除した数で「よい、そう思う」の割合を示し、「わからない」は除いている。

教育目標	重点目標	学部・分掌	学校評価実施項目	学校評価質問事項	評価平均値		学校関係者評価
					教職員	保護者	
その能力を最大限に伸ばし、児童生徒の自立と社会参加に向けて豊かな人間性を育む。	一人一人の能力を最大限に伸ばす授業づくり	小中学部	地域学習	邑南町や居住地など地域に積極的に出かけたり、地域のことを取り入れた学習を実施したりすることができたか。	3.7	3.6	3.8
		高等部	地域学習	学校外の場所や人、もの、ことを取り入れた学習をすることができたか。	3.6	3.5	3.8
		教務	「聞く・話す力」「書く・読む力」	図書館利用の取り組みをおこない、本にふれあう機会が増えたか。	3.8	3.3	3.6
		生徒指導部	児童生徒会活動	児童生徒会活動を通して、小中高の学部を超えた全校での活動や地域とかわる活動を実施することができたか。	3.5	3.7	3.3
		研究部	授業改善	研究活動を通して、児童生徒が活動がわかって自分から動き出したり、もっているコミュニケーションの力を発揮したりする姿が見られる授業作りができたか。	3.5	3.5	3.6
	健康で安全な生活が送れる学校環境づくり	保健	学習環境	怪我、病気等の緊急時に対する訓練や研修等、また発生時対応が適切になされていたか。	3.7	3.5	3.3
	家庭・地域社会との連携をめざし、信頼される学校づくり	総務	PTA活動	保護者と教職員が協力したPTA活動を推進することができたか。	3.7	3.8	3.7
		進路指導部	情報の共有	現場実習（チャレンジ実習）に対しての必要な情報が、本人や保護者に文書等で確実に伝わったか。	3.6	3.7	3.8
		舎務部	保護者	学部、保護者との連携を図り、共通理解の上で運営を行うことができたか。	3.6	3.7	3.6
	人づくり	相談支援	専門性の向上	関係機関と連携を図りながら、子ども理解や学習支援についての専門性を高めるための地域に向けた研修会を実施することができたか。	3.9	3.4	3.8